スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【兵庫県猪名川町】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	兵庫県猪名川町
担当課名	学校教育課
電話番号	072-766-6006

1．自治体の基本情報

基本情報

人口	29,033人	部活動数	16部活
公立中学校数	2校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	891人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

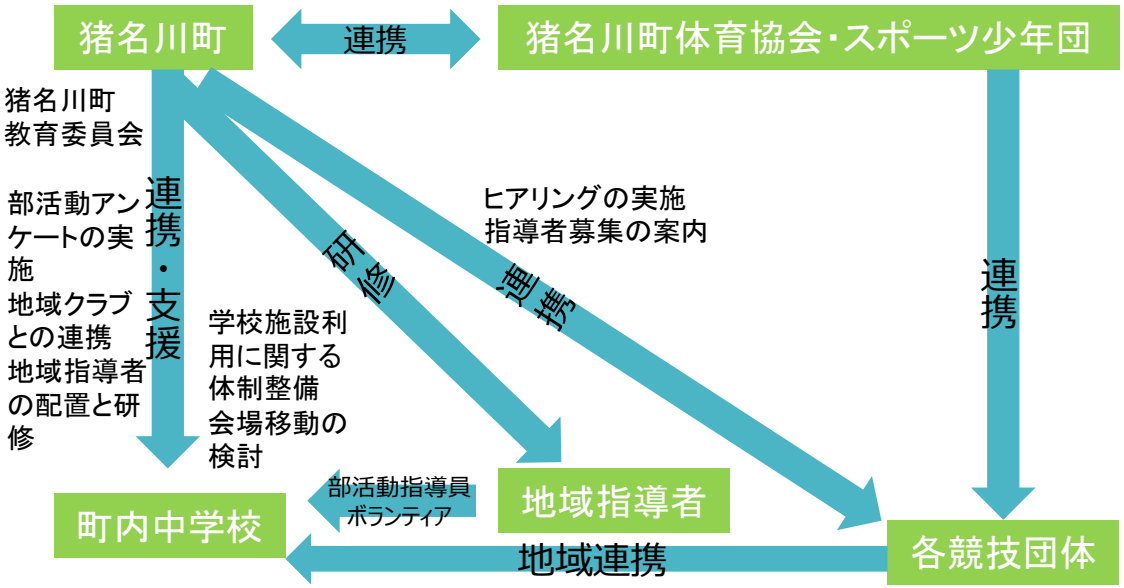
現在、猪名川町では猪名川町体育協会と猪名川町スポーツ少年団を中心に、中学生の地域でのスポーツ・文化活動の充実・創設を行っている。これまでの学校部活動になかった競技・種目に生徒たちが参加できたり、これまで続けてきた競技・種目に引き続き取り組むことができるようになる。これらの環境整備は、生徒たちの「技術力向上」を求める気持ちと、「スポーツを楽しみたい」という気持ちの両方を満たしていけると考えている。また、猪名川町全体で生徒の活動をサポートすることで学校によって実施される種目の違いが解消され、より多様な選択をすることができるようになる。

しかし、種目が多様的になることとは反対に、少子化は年々進行している。令和元年度には1,039人いた中学生は令和10年度に691人まで減少する。新たな競技・種目が増えてしまったことでチームが組めなかったり、十分が練習が実施できないことが懸念される。また、指導者の高齢化も進んでいる。町内の65歳以上の人口は30%を超えている。そのため、中学生にとって新たな活動場所となった団体であっても、後継者不足のため、これから先も持続的に運営することが難しい現状である。

2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

● **教育委員会**（学校教育課、教育振興課）
地域クラブとの連携、地域指導者の発掘
部活動アンケートの実施、放課後の会場移動の検討
小・中学生と保護者に向けての説明会の実施

● **首長部局**（地域交流課）
猪名川町体育協会・スポーツ少年団と地域連携に向けた協議の実施
猪名川町体育協会・スポーツ少年団と地域連携に向けた説明会の実施
学校施設の使用に関する手続きの整備

年間の事業スケジュール

４月　猪名川町立猪名川中学校陸上競技の地域連携事業の先行実施
５月　第１回猪名川町部活動地域移行推進事業説明会（猪名川町体育協会・スポーツ少年団指導者対象）
６月　第１回部活動地域移行検討協議会（部活動アンケートの内容検討）
７月　第２回部活動地域移行検討協議会（部活動アンケート結果共有、第２回猪名川町部活動地域移行推進事業説明会の内容検討、事業計画検討）
　　第２回猪名川町部活動地域移行推進事業説明会（猪名川町体育協会・スポーツ少年団指導者対象）
８月～ 種目別地域移行検討会議（各種目の地域指導者及び学校部活動顧問対象）
12月～ 各種目体験会の実施（硬式テニス、ダンス、少林寺拳法、レスリング、男子バスケットボール）
１月～ 新入生保護者説明会、小学校６年生、中学校在校生・保護者説明会の実施
２月～ 令和６年度地域連携実施種目の検討

2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

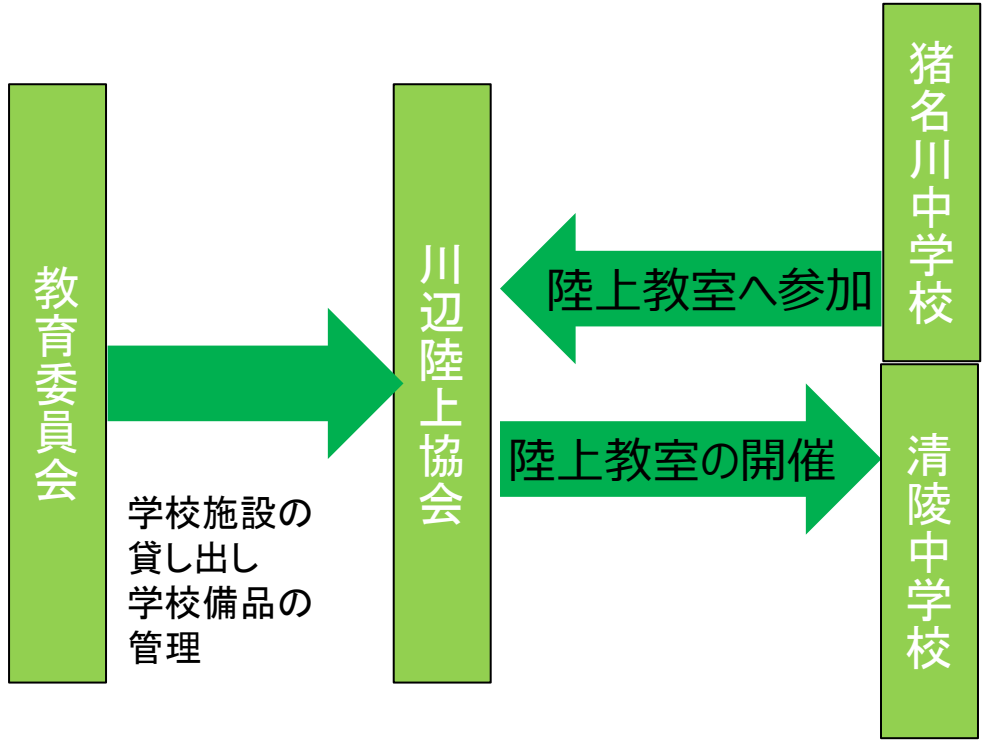
拠点校数	１校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	陸上競技
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	１部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	猪名川中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	１部活
地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営主体名	川辺陸上競技協会
運営類型	地域スポーツ団体運営型（体育・スポーツ協会型）
１か月あたりの平均的な活動回数	陸上競技：月１０回程度
指導者の主な属性	体育協会員
活動場所	猪名川町立猪名川中学校
主な移動手段	徒歩、自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	陸上競技：3,6000円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項	総括コーディネーターを1名配置し、関係団体・関係担当課・学校等との連絡調整、運営体制の整備や人材確保など持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。また、責任の主体の明確化にする取組、指導者の研修等も行う。
取組の成果	年度当初から取り組み始めた陸上競技の地域連携は、各競技団体のモデルケースとして実施主体の整備に活用することができた。陸上競技の専門的な指導を受けられていなかった生徒にとっては、自らの技術力を向上させる良い機会となった。しかし、すべての種目で専門的な指導ができる人材を準備することができなかったため、生徒によってはこれまで通りの活動になってしまった。今後は生徒の多様な興味・関心に対応できるよう指導者の数の充実を目指す。また、競技によっては使用する器具や道具が高価であったり多岐に渡ったりする。これまで学校部活動で使用してきた器具や道具を引き続き、地域の活動でも使用できるよう制度を整えていく必要がある。
特に工夫した事項	教育委員会と猪名川町体育協会・スポーツ少年団が連携を図る上で、総括コーディネーターが窓口になることを周知した。また、学校内での活動と学校外での活動のちがいについて、責任の所在をはじめ、教員と地域の指導者に周知を図った。
今後の課題と対応方針	個人競技と団体競技、屋外と屋内など、各種目によって実施環境が異なるため、すべての競技・種目にあてはめることはできなかった。今後は屋内の団体競技での地域連携・移行が進められるよう今年度得られた知見を活用していきたい。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【小学生への説明①】



【小学生への説明②】



【小学生と意見交換①】



【小学生と意見交換②】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和５年　　令和６年　　令和７年　　令和８年

猪名川町体育協会・スポーツ少年団への説明 → 地域クラブ実施に向けた連携団体の選定 → 学校現場との調整 → 生徒、保護者への説明 → 地域クラブの一部実施 → 地域クラブ活動の拡大 → 地域クラブ活動の全面実施

教育委員会と地域スポーツを主管する地域交流課が、猪名川町体育協会に所属する指導者とスポーツ少年団の指導者を対象に部活動地域移行推進事業説明会を２回実施した。このとき、「地域移行」という言葉が先行し、地域が部活動をしなければならないことの負担感や子どもファーストではなく教員ファーストの取り組みであると認識される方々が多かった。しかし、各団体それぞれと種目別検討会議を繰り返し実施する中で、猪名川町全体で子どもたちを支えていく取り組みであるという猪名川町の方針の理解が深まり、連携する団体が増えていった。

しかし、中学生が参加できるよう各団体において中学生クラスを創設する中で、学校施設や備品の利用、指導者の質の向上や後継者の育成などに課題が見られるようになった。また、各中学校を通じて実施した「部活動に対する意識調査」に回答した生徒の約80%が自分の通学してる中学校での活動を希望していた。以上のことから、学校で実施されている競技・種目をはじめ、実施体制が整備された団体から順に地域クラブ活動を見据えた地域連携に取り組んでいくことを決めた。

地域クラブ実施に向けた連携団体の選定をしながら、各中学校に出向き、教育委員会から児童生徒、保護者、教員を対象に地域クラブ活動の実施に至るまでの方針を説明した。説明会後には、種目別顧問会を実施し、引き続きの指導を希望するのか、地域クラブへの切り替えのタイミングはいつがいいのか、指導する部活動に所属して生徒に対して、今後の部活動の在り方について説明するなど、地域クラブの取り組みを普及していった。また、小学校６年生に対して説明会を実施し、子どもたちの意見を直接聞いたり、担任を通じて質問を受け付けるなどして理解を図っていった。